

第4回国勧業博覧会の歯科出品物

第2報 齒磨について*

大橋 正敬** 長谷川 清** 竹井 満久**
菅原 明喜** 小田 邦雄** 芝原 健夫**

1. 緒 言

第4回国勧業博覧会は、明治28年（1895年）4月1日より7月31日まで京都市上京区岡崎町で開催され、多くの歯科用品が出品された。われわれは、これら出品物のうち、第1報¹⁾として歯科器材について報告したが、今回、第2報として、歯磨の出品物について報告する。

2. 研究資料と方法

本研究は、第1報¹⁾と同じように第4回内国勧業博覧会事務局編集の同博覧会出品部類目録および同出品目録補正を主な資料として用い、その第一部（工業）第1類（化学製品および薬剤）を中心にして歯磨について調査を行った。

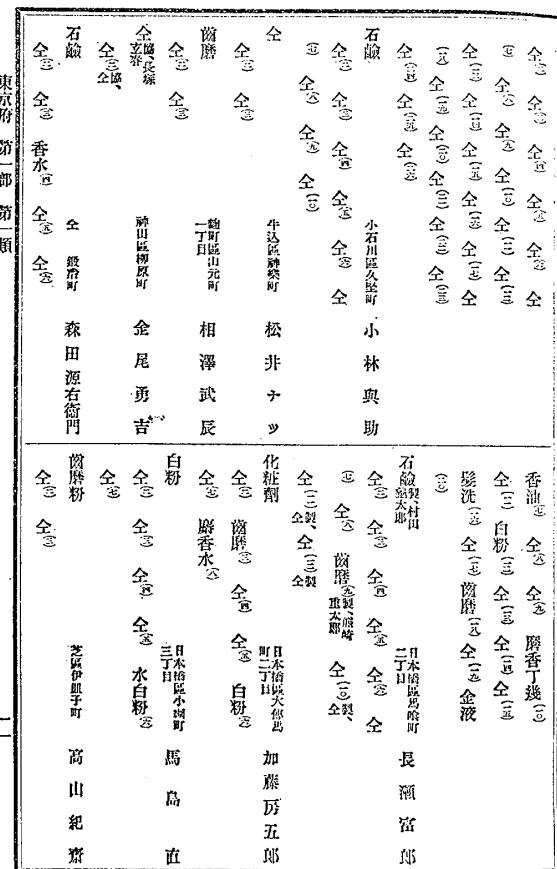
3. 歯学史的事項

第1部第1類を調査したところ、歯磨の出品は次のとおりであった。なお、出品名の前の()内の数字は出品番号を、出品名の後の「製」および「協」はそれぞれ製造人および協賛人を示す。

○相沢武辰²⁾ 東京市麹町区山元町1丁目
(図1)

* Dental products exhibited at the Fourth National Exposition for the Encouragement of Industry, II. Dentifrice

** Masayoshi OHASHI, Kiyoshi HASEGAWA,
Mitsuhisa TAKEI, Akiyoshi SUGAWARA,
Kunio ODA and Takeo SHIBAHARA: De-
partment of Dental Materials, Nihon University
School of Dentistry 日本大学歯学部歯科理工学
教室



四 1

图 3

(1)～(3) 齒磨

他に洗粉を出品。

○波多海蔵²⁾ 東京市京橋区南佐柄木町
(図2)

(1)～(6) 齒磨

○松澤八右衛門²⁾ 東京市日本橋区銀座3丁目
(図2)

(11)～(23) 歯磨

他に白粉、水白粉を出品。

○長岡ゑい³⁾ 京都市下京区寺町通松原上ル
京極町

(1)~(5) 齒磨

○宮本辨次郎³⁾ 京都市下京区五条通高倉西入
萬壽寺町

(1)～(3) 薬歯磨

(4) 齒磨

○戸田 肇³⁾ 京都府紀伊郡伏見町

(2) 齒磨

(1) 歯磨は出品を取消した²⁸⁾.

- 北村岩太郎³⁾ 京都市下京区岩上通蛸薬師下ル宮本町
 (10), (11) 齒磨
 (12) 水齒磨
 他に麝香、白粉、洗粉、石鹼などを出品。

○藤原豊次郎³⁾ 京都市下京区松原通麿屋町西入中ノ町
 (1)～(6) 齒磨

○福富恭礼⁴⁾ 大阪市西区土佐堀通 5 丁目
 (図 3)
 (1) 白齒散

○安田 正⁴⁾ 大阪市西区京町堀通 1 丁目
 (図 3)
 (1) 齒磨

○長谷川文巻⁴⁾ 大阪市西区立売堀北通 5 丁目
 (1)～(3) 齒磨

○山田徳松⁴⁾ 大阪市西区北堀江下通 1 丁目
 (1)～(4) 齒磨

○横岡安二郎⁴⁾ 大阪市西区北堀江二番町
 (1), (2) 齒磨

○中居武次郎⁴⁾ 大阪市南区順慶町 2 丁目
 (1)～(4) 薬齒磨

○井上與七⁴⁾ 大阪市南区末吉橋通 2 丁目
 (1), (2) 齒磨
 他に麝香、人造麝香水を出品。

○入江津禰⁴⁾ 大阪市南区鰻谷東之町
 (1)～(4) 齒磨

○脇田善吉⁴⁾ 大阪市南区鰻谷西之町
 (1) 煉齒磨
 (2)～(6) 薬齒磨

○伊藤清右衛門⁴⁾ 大阪市南区心斎橋筋 2 丁目
 (30)～(39) 齒磨
 他に線香、麝香白粉、石鹼などを出品。

○吉田宗三郎⁴⁾ 大阪市東区内淡路町 2 丁目
 (1)～(6) 齒磨

○寺田藤八⁴⁾ 大阪市東区淡路町 2 丁目
 (17) 齒磨料 ゴールド
 他に旭香、開華香、香油、香水などを出品。

○松本金祐⁴⁾ 大阪市東区船越町 2 丁目
 (1), (2) 齒磨
 他に洗粉を出品。

- 秋山武安⁴⁾ 大阪市東区北浜 5 丁目
 (1)～(4) 齒磨
- 前神醇一⁴⁾ 大阪市東区高麗橋 4 丁目
 (1)～(7) 齒磨
- 安住伊三郎⁴⁾ 大阪市東区平野町 2 丁目
 (2) 薬歯磨
 他に蚤取粉、水白粉を出品。
- 荒木武吉⁴⁾ 大阪市東区平野町 3 丁目
 (1), (2) 齒磨
- 川下福松⁴⁾ 大阪市東区平野町 3 丁目
 (12), (13) 薬歯磨
 他に小町水、小町白粉、小町フキン、艶ガラス、鉄漿下水などを出品。
- 福井松之助⁴⁾ 大阪市東区備後町 4 丁目
 (26)～(29) 齒磨
 他に石鹼、水白粉、美人水を出品。
- 柳沢休左衛門⁴⁾ 大阪市東区北久宝寺町 2 丁目
 (1) 齒磨石鹼
- 吉村平兵衛⁴⁾ 大阪市東区南久宝寺町 1 丁目
 (1), (2) 齒磨
- 清水利兵衛⁴⁾ 大阪市東区南久宝寺町 1 丁目
 (1), (2) 齒磨
- 中島新之助⁴⁾ 大阪市東区博労町 4 丁目
 (1)～(5) 齒磨
- 炭谷伊三郎⁴⁾ 堺市宿屋町
 (1) 齒磨
- 杉本卯之助⁴⁾ 大阪府西成郡木津村
 (1)～(3) 齒磨
 他にギブス、亜筆を出品。
- 日野彌三郎⁴⁾ 大阪府西成郡小野村
 (1) 齒磨
- 三枝兵四郎⁵⁾ 兵庫県加西郡北條町
 (1) 齒磨
- 広井伊八⁵⁾ 兵庫県津名郡洲本町
 (1) 齒磨
- 長谷川喜作⁶⁾ 新潟市本町通八番町
 (1) 齒磨
- 家坂徳七⁶⁾ 新潟県南蒲原郡見附町
 (2) 齒磨
 他に香油を出品。
- 竹山銷太郎⁷⁾ 埼玉県北埼玉郡礼羽村
- (1) 薬歯磨
 (2) 薬歯磨は出品を取消した³⁰⁾。
- 宮田辰次郎⁸⁾ 名古屋市針屋町
 (10) はみがき
 他に白粉、顔洗粉などを出品。
- 安藤平七郎⁸⁾ 名古屋市末広町
 (1) 齒磨粉
- 河野やすの⁹⁾ 甲府市常盤町
 (1) 齒磨粉
- 成田文吉¹⁰⁾ 滋賀県蒲生郡武佐村
 (1) 齒磨
- 後藤嘉兵衛¹¹⁾ 岩手県東和賀郡黒沢尻町
 (1)～(3) 齒磨
- 山谷友平¹²⁾ 富山市惣曲輪
 (1), (2) 齒磨
 他に美面光水、髪クセ直シを出品。
- 松井儀三郎¹³⁾ 松江市堅町
 (1), (2) 齒磨
 他に沃度を出品。
- 桑原才太¹⁴⁾ 広島市天神町
 (1), (2) 齒磨
- 高阪萬兵衛¹⁴⁾ 広島市細工町
 (1), (5) 齒磨
 (2) 齒磨石鹼、(3) 煉製歯磨、(4) 炭酸石灰の出品を取消した³²⁾。
- 高野彌吉¹⁴⁾ 広島県御調郡三原村
 (1) 齒磨
- 安曾能造¹⁴⁾ 広島県沼隈郡松永村
 (1) 水歯磨
- 田中有一¹⁵⁾ 山口県吉敷郡上宇野町
 (1) 齒磨
- 井東久太郎¹⁵⁾ 山口県吉敷郡嘉川村
 (1), (2) 齒磨
- 塩田市右衛門¹⁵⁾ 山口県赤間関市東南部町
 (4) 齒磨
 他に艶洗粉、香水、水白粉
- 山本友次郎¹⁶⁾ 和歌山市久保町 1 丁目
 (1) 齒磨粉
- 橋本吉次郎¹⁷⁾ 徳島市東新町
 (1)～(3) 齒磨
- 武田 昇¹⁷⁾ 徳島県那賀郡富岡村

- (1) 歯磨粉
- 川崎安太郎¹⁸⁾ 高知県吉川郡浦戸村
(1) 歯磨粉
他に白粉、洗粉、朱印肉を出品。
- 石谷謙次郎¹⁸⁾ 高知市山田町
(1) 歯磨粉
- 猪股梶三¹⁹⁾ 熊本県城河原村
(1) 歯磨
なお、明治28年2月1日以後の出品物に関する出品目録補正には、次のものが追加になっている。
- 柳田 壮²⁰⁾ 茨城県豊田郡三妻村
(4)～(6) 歯磨
他に石鹼、白粉などを出品。
- 渡辺重喜²¹⁾ 石川県鹿島郡七尾町
(1) 歯磨
- 山本平蔵²²⁾ 鳥取市二階町3丁目
(1) 歯磨
- 一ノ井盛太郎²³⁾ 岡山県和気郡香登村
(1) 歯磨粉
- 古沢淵武²⁴⁾ 熊本県玉名郡石貫村
(1), (2) 歯磨粉
次のものは歯磨の出品を予定していたが、その出品を取消した。
- 広田徳兵衛^{2,27)} 東京市日本橋区横山町2丁目
- 喜多甚七^{5,29)} 神戸市兵庫本町通小物屋町
- 石原鉱藏^{5,29)} 兵庫県印南郡上荘村
- 西尾成邦^{12,31)} 富山県礪波郡数波村
- 久米豊治郎^{25,33)} 松山市唐人町3丁目
- 松野勝太郎^{26,34)} 大分県大分郡大分町

4. 考 察

本研究は、明治28年京都で開催の第4回内国勧業博覧会に展示された歯磨出品物について調査したもので、前章のように新しい史実を明らかにすることができた。

歯磨の出品者は79名で、多くの府県より出品したが、大阪よりの出品者が26名で最も多く、次に東京が18名とこの両者で半数以上を占め、両者はその主生産地であったことが理解される。

前回の博覧会より歯磨の出品者数が急激に増加

したが、当時、口腔衛生思想の発達普及とともに歯磨の需要が増え、その処方が容易で、小資本でも商品化できることもあって、製造業者が増加したためであろう。波多海蔵は、明治10年第1回内国勧業博覧会以来連続4回目の出品で、当時、消長の激しかったこの業界では珍しいことで、彼の歯磨の評判がよかった証拠であろう。斎藤吉次郎も前回まで3回連続出品し、後の2回褒賞を受賞したが、今回、熊田善蔵出品の歯磨製造人であったけれども、自らは出品しなかった。安田正、脇田善吉、伊藤清右衛門、喜多甚七、後藤嘉兵衛、井東久太郎および山本友次郎の7名は前回に統いて2回目の出品で、他のものはすべて今回はじめての出品であった。

そのはじめての出品者のなかに高山紀斎の名があった。当時、歯科医が歯科医学の立場から自ら歯磨を処方することはあった³⁵⁾が、彼のように博覧会に出品することは珍しいことであった。開国歯科医人伝の高山紀斎³⁶⁾の項に、「東宮殿下に御施術したのは明治20年1月19日に下顎乳前歯を抜去申上げ、同年3月7日皇后陛下に拝診し前歯に継続歯を御施術申上げたと記録される。この時高山処方謹製の歯磨粉を宮内省に上納申上げた。以来しばしば御愛用を仰付たということだ。」とある。高山紀斎はこの処方の歯磨粉を今回出品したのである。その処方は明らかでないが、皇室御愛用宮内省御用達になるほどで、しかも歯科医の立場より当時最高の学理を応用した歯磨粉であったと思われるが受賞の対象にはならなかつた³⁷⁾。受賞した歯磨と高山処方の歯磨との間にどのような相違があったのか不明である。また、これに関連して歯磨の組成はどのような進展をしてきたか誠に興味ある問題であるが、今回調査した出品目録にはその組成の明記が全くなく解明することができなかつた。この問題については今後の研究に期待したい。

杉本卯之助が歯磨3点の他にギブス1点を出品したことにも注目しなければならない。石膏は歯磨の一成分として使用されていた化学製品であるので、歯磨と同じ第1部第1類に出品されたものと考えられる。彼の他にも石膏を出品ものがあった

が、特に歯科用として製造されたものでない。この石膏出品物については別に報告する。

5. 結論

明治28年（1895年）、京都で、政府主催の第4回内国勧業博覧会が開催され、それに出品された歯磨について、同博覧会の出品部類目録および同出品目録補正を主な資料として調査した結果、次の結論を得た。

- (1) 歯磨の出品者は79名であった。
- (2) 大阪の出品者は26名で最も多く、次は東京の18名で、両者は当時の歯磨の主生産地であった。
- (3) 波多海蔵は第1回博覧会以来4回連続の出品であった。
- (4) 高山紀斎は歯磨をはじめて出品した。

文 献

- 1) 大橋正敬、ほか：第4回内国勧業博覧会の歯科出品物、第1報 歯科器材について、歯医史、8卷2号、31-38、1981。
- 2) 第4回内国勧業博覧会事務局：第4回内国勧業博覧会出品部類目録、第1部上、11-15、1895。
- 3) 同上、127-134、1895。
- 4) 同上、313-340、1895。
- 5) 同上、475-477、1895。
- 6) 同上、531、1895。
- 7) 同上、第1部下、2、1895。
- 8) 同上、195-198、1895。
- 9) 同上、291、1895。
- 10) 同上、308、1895。
- 11) 同上、437、1895。
- 12) 同上、585-586、1895。
- 13) 同上、625、1895。
- 14) 同上、677-679、1895。
- 15) 同上、709-710、1895。
- 16) 同上、729、1895。
- 17) 同上、753-755、1895。
- 18) 同上、889-890、1895。
- 19) 同上、1019、1895。
- 20) 第4回内国勧業博覧会事務局：第4回内国勧業博覧会出品目録補正、第1部、追加、53、1895。
- 21) 同上、131、1895。
- 22) 同上、151、1895。
- 23) 同上、155、1895。
- 24) 同上、193、1895。
- 25) 第4回内国勧業博覧会事務局：第4回内国勧業博覧会出品部類目録、第1部下、832、1895。
- 26) 同上、982、1895。
- 27) 第4回内国勧業博覧会事務局：第4回内国勧業博覧会出品目録補正、第1部、取消、3-8、1895。
- 28) 同上、13、1895。
- 29) 同上、75、1895。
- 30) 同上、87、1895。
- 31) 同上、183、1895。
- 32) 同上、199、1895。
- 33) 同上、230、1895。
- 34) 同上、263、1895。
- 35) 山田平太：明治に於ける商品としての歯磨、日本口腔衛生、14卷152号、22-35、1932。
- 36) 今田見信：開國歯移医人伝、1版、医歯薬出版、東京、131、1973。
- 37) 大橋正敬、ほか：第4回内国勧業博覧会歯科出品物の審査結果、第2報 歯磨について、歯医史（投稿中）